




## 中間チェック・点検結果

### 総括

- 当初の目標をほぼ達成できた。
- オール大阪によるスタートアップエコシステム拠点形成計画の作成や、事業承継支援など、中小企業の活力が発揮できる環境づくりを進めた。
- ライフサイエンス産業の拠点形成に向けた取組みを進めるとともに、中小企業の第4次産業革命への対応や国内外からの投資の呼び込みを行った。
- OSAKALごととフィールドを軸に、就職に困難性を有する方に対する就業支援を行った。また、ワークライフバランスの推進や、いわゆるブラック企業の撲滅に向けた取組みをはじめ、国と連携して「働き方改革」を推進した。

テーマ		中間チェック	点検結果・今後について	自己評価
テーマ 1	中小企業支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国の「スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」における拠点都市の選定に向け、大阪産業局を中心とする「大阪スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」を設置</li> <li>● 同拠点都市の選定について、引き続き、大阪産業局等の関係機関と連携した取組みを推進。また、事業承継支援については、事業承継ネットワークによる伴走型支援と事業承継計画の策定を加速化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当初の目標を、ほぼ達成。</li> <li>● コンソーシアムにおいて、オール大阪によるエコシステム形成計画を作成するとともに、国に対して京阪神連携による共同申請書を提出。</li> <li>● 事業承継ネットワークの構成機関と連携し、伴走型支援と事業承継計画の策定を支援。引き続き、関係機関と連携しながら、更に取組みを進めていく。</li> </ul>	
テーマ 2	第4次産業革命等への対応と成長機会の創出、国内外の企業誘致・立地促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種セミナー、イベントや個別訪問などでの積極的な働きかけにより、おおさかスマエネインダストリーネットワーク（SIN）会員が大幅に増加</li> <li>● 年度後半においても、市町村や関係機関等と連携しながら、国内外の企業誘致・立地を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当初の目標をほぼ達成。</li> <li>● 引き続き、SIN会員とスマートエネルギーパートナーズ（SEP）企業のマッチングを推進するなど、中小企業のビジネス拡大を支援していくとともに、産業集積促進地域の拡大等の今年度の成果を活かし、市町村等と連携しながら、国内外の企業誘致・立地を促進していく。</li> </ul>	
テーマ 3	健康・医療関連産業の世界的なクラスター形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来医療推進機構の設立準備（中之島）やアライアンス棟整備等の優先交渉権者の決定による関係者間の協議（健都）などを実施</li> <li>● 引き続き、拠点に備える各機能についての具体的な事業スキーム（中之島）や健栄研の円滑な移転等（健都）に向け、関係者間での検討を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当初の目標をほぼ達成。</li> <li>● 未来医療推進機構を設立するとともに、府を含む四者で基本合意書を締結。また、開発事業者が決定され、施設整備の準備が整った（中之島）。</li> <li>● 健栄研の円滑な移転や健都内外の関係機関とのコーディネート機能の構築等に向け、関係者間での検討を進めた（健都）。</li> </ul>	
テーマ 4	多様な人材の活躍支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● OSAKALごととフィールドを軸に、人材確保に課題がある分野の人材確保・就職支援や、働き方改革関連法の施行を踏まえた、制度周知や労働相談等を実施</li> <li>● 引き続き以下を国や市町村、関係機関と連携して実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革に関する制度の周知・相談</li> <li>・OSAKALごととフィールドを軸とした就業支援</li> <li>・職業訓練等を通じた人材育成</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当初の目標を、ほぼ達成。</li> <li>● 引き続き、雇用情勢を注視しながら、国や市町村と連携し、OSAKALごととフィールドを軸として、就職氷河期世代を含めた就職に困難性を有する方など多様な人材の就業支援、技専校等における人材育成、働き方改革の推進に向けた取組を進めていく。</li> </ul>	